



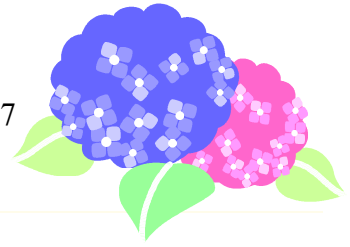
校長室通信



小国町立小国中学校

令和4.6.17(金)No7

文責 狹間卓史



「学ぶ、改善する」

今週の15日(水)は、「熊本県教育委員会阿蘇教育事務所」による学校訪問がありました。この学校訪問は毎年実施されているものですが、今回の場合は三年に一度の頻度で実施される「総合訪問」と呼ばれる訪問でした。

その目的は、各学校の教育課程や学校運営、施設管理、様々な表簿類についての点検・指導、さらには、職員の授業力や生徒指導力等の向上に向けての具体的な指導・助言をいただく機会として位置づけられます。

授業改善や生徒指導については本校の場合、日頃から小学校と連携した取り組みを重ねてはいますが、全国や熊本県全体の取り組みを基準にした場合の、妥当性の確認と改善のための指導を受けることは、憲法で保障される「教育の機会均等」を実現していく上でも欠かせないことだと言えます。

コロナ禍での実施ということで阿蘇教育事務所には最大限の配慮・工夫を頂いての実施でしたが、本校にとっては今後の改善につなげていく具体的な指導・助言をいただくことができた何よりの学びの機会となりました。

今回の学校訪問と同様に、各ご家庭の皆様方には本年度も年二回の学校評価にご協力をお願いする予定です。様々な視点から本校の実践を見ていただくことは取り組みの改善を図る上で必要なことだと考えています。生徒の力を最大限に伸ばすことが出来る学校環境の実現をめざしてこれからも頑張ります。



【 当日の様子です 】

「爽やか、ほのぼの」

この通信の前号では本校生徒の掃除のことについて紹介させていただきましたが、今号では挨拶のことについて紹介します。

本校生徒の挨拶については町内の方々からも様々な機会に褒めて頂くことがあります。先ほど紹介した阿蘇教育事務所の訪問に際しても、生徒の挨拶についてはお褒めの言葉を頂きました。この生徒の挨拶については最近の職員室内でも話題として挙がる機会が多くなっています。登校時や下校時に生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれるのはもちろんのこと、手を振ってくれる生徒もおり、とても爽やかでほのぼのとしています。私自身も校長室や職員室で電話対応中の場合など生徒と言葉を交わすことが出来ない状況では手を振っていますが、多くの生徒が笑顔で手を振り返してくれます。本当に素直で素敵な子たちの挨拶に癒やされています。おうちの方からは「最近反抗期で・・・」という言葉をお聞きする機会も多いのですが、学校では家庭とは違う姿も示せていますので安心されてください。



【 紫陽花が色鮮やかです 】

今、生徒に望むことは、学校で示してくれるそういう爽やかな挨拶を地域の中でも(出来ることなら家庭でも)自分から示せる力を高めてほしいということです。本校の場合、地域の皆様には様々な場面でお手伝いを頂いています。そういう地域の方々に対して自分たちに出来ることの一つが挨拶です。

本町はSDGsの町づくりに取り組んでいますが、その目標の中には「住み続けられるまちづくり」という目標があります。町中で爽やかな挨拶が交わされるならば、「小国町って良いよな、住みたいな、住み続けたいな」と思う人も増えるのではないかと思う今日この頃です。

※カラー版は本校ホームページをご覧ください